



奈良市議会議員

ACTIVITY REPORT

山本かずひろ

活動レポート

2025年4月号



【発行元】奈良市議会議員 山本 憲有 〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1 奈良市議会 自由民主党控室 Tel:0742-34-4790

奈良市議会の山本かずひろは、議会運営委員長として議会運営全般についての調整や、本会議の進行を確認する責任を担い、子育て経験を活かした教育問題への積極的取り組み、建設技術者としての専門家目線でのまちづくりなど、市民目線で議員活動に取り組んでいます。

奈良市の令和7年度一般会計当初予算総額は1,680億円として3月議会に提案されました。主な内容としては、物価高騰や社会保障費の増加などにより昨年度と比べておよそ53億円増え、過去最大となりました。このうち防災対策として、ロート奈良鴻ノ池パークを防災拠点として整備するための防災倉庫の設置や既存施設の改修などに1億5,000万円余りが計上されています。また、物価高騰対策にも力を入れるとして、中学校の給食費を完全無償化する費用約4億5,000万円と、昨年の予算審査で、不要と判断した予算を削減し、財源を確保したうえで、議会

から市と市教委に要望したことで、補正予算による学校給食の栄養基準を満たすための食材購入等の増額約1億円が実現された、小学校の給食費の補助(公費負担)およそ1億3,000万円は、令和7年度予算にも盛り込まれました。

3月議会の審査では、我々議員からの指摘を考慮し、市長は予算案を取り下げ、取り下げ後の再提出では、自ら7項目を削減しました。議会としては、無駄な予算を削減し、教育や福祉など、より市民目線での予算措置が必要と考えていますので、審査機関である議会のチェック機能が働いている表れとご理解ください。引き続き奈良市財政の健全化に取り組み、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します。以上を含め、市の課題について私の市議会活動を皆様にご報告いたします。

狭隘ですれ違いも困難な歩道を改善！

商業施設、病院や銀行などが立地し、車両の往来や通行人の多い歩道(市道中部第1058号線)ですが、痛みも激しく、植栽が大きく成長していることで見通しも悪く通行を困難にしていました。山本は、歩道の改修工事を市に届け、市の担当課と一緒に、改善に向け尽力してきました。これまで段階的に、植栽撤去や防護柵設置、舗装工事が実施され、安全性と利便性が改善されています。



改修工事前(北側より)



改修工事後(北側より)



改修工事前(南側より)



改修工事後(南側より)

令和7年3月定例会での質疑 高の原駅前広場リニューアル

奈良市・木津川市・精華町の2府県3市町にまたがる平城・相楽ニュータウン(高の原)では、高齢化に伴う将来の健康や退職後の日々の過ごし方への不安の声があり、若い世代の地域活動への積極的な参加や子育て世代の流入による活性化が望まれています。令和4年にまちびらき50年を迎えたことを契機として、住区や行政界を越えた地域住民と事業者とのつながりから新たな取り組みが生まれ、課題解消の兆しがあることから、住区の境を越えて知人・友人・仲間のつながりをつくれる公共空間を目指し駅前広場整備工事を実施します。事業費は1,295,200千円で、基本設計及び実施設計をもとに令和7年度から令和9年度にかけて工事が実施されます。山本は、令和7年度予算を審査する3月議会の予算決算委員会で、高の原駅前広場リニューアル計画を、質疑で確認しています。

都市政策課長への質問

基本設計及び実施設計をもとに令和7年度から令和9年度にかけて高の原駅前広場整備工事を実施する計画となっているが、三カ年の実施工程計画を確認する。

都市政策課長答弁

詳細な工程については実施設計の中で具体化していくことになるが、計画では、**令和7年度から8年度にかけて、すずらん館前広場からふれあい橋、イオン前までの北側のエリアについて整備を実施する予定としている。**また、並行して**令和8年度から9年度にかけて、バス・タクシーロータリー周辺の整備を行い、令和9年度には北部会館前の南側エリアを整備する計画である。**



痛みの激いすずらん館前広場の整備は？

すずらん館前広場はタイルなどが割れ、痛みが激しい状況ですが、部分修理での対応が現状であり、これまでも問題指摘してきました。今後は、全体計画の中で、イベント時の使いやすさや、動線の確保に配慮した整備計画として、路面についてもタイル舗装等の全面改修が行われる予定です。

山本かずひろプロフィール

《学歴(学位)》

- 関西大学大学院 ガバナンス研究科 修了
学位：修士(政策学)
学位論文：現代日本の地方政治における二代表制
—地方議会の現状と課題—
- 日本地方自治研究学会 所属
- 帝塚山大学 経済学部 卒業
- 修成建設専門学校 土木工学科 卒業
- 奈良大学附属高校(旧正強高校) 普通科英語コース 卒業

《奈良市議会》

- 副議長(2021.8-2022.6)
- 議会運営委員会 委員長(2024.6~)
- 市民環境委員会 委員長(2020.6-2021.7)
- 観光文教委員会 委員長(2018.6-2019.6)

《役職》

- 奈良市消防団東里分団 団員(1999年入団)
- 奈良教育大学付属小学校 教育後援会「つめくさ」会長
- 特定非営利活動法人 なら燈花会の会 顧問
- 全日本少年硬式野球連盟 奈良ヤング 顧問
- 近畿地区防衛協会 青年部連絡協議会 顧問
- 奈良県防衛協会 常任理事
- 山辺環境組合 議長

《社会活動》

- 奈良市監査委員(2020.7-2021.7)
- 奈良国際文化観光都市建設審議会 委員(2016.10-2018.9)
- NHK奈良県視聴者会議 委員(2011.1.1-12.31)
- 奈良公園地区整備検討委員会 委員(2011.1.1日-12.31)
- 関西電力エネルギー懇話会 委員(2011.1-2012.12)
- リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会 委員(2011.1-12.31)
- リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議 顧問(2018.10-2019.6)



山本かずひろ



事務所

〒630-8325 奈良市西木辻町121-2-302 Tel/Fax . 0742-26-2026 <https://www.yamamoto-kazuhiro.com>

世代がつながる
住区がつながる 未来へつながる

高の原駅前広場リニューアル 住民説明会資料

奈良市
都市整備部 都市政策課

出典：奈良市都市政策課
一部加筆修正

背景1

平城・相楽ニュータウンパワーアップビジョン検討会議※1
によるアンケート調査

抜粋した現状・課題

- ・高齢化への対応
人生100年時代の生き方
移動の困難さ
地域活動の世代交代
- ・コミュニティの充実
若い世代の地域活動の少なさ
顔が見える住民関係
単身での暮らしへの不安
- ・社会情勢の変化
働き方の多様化(リモートワーク)
くらしの変化(家族構成)

R2.11「平城・相楽ニュータウンのまちづくり・まち育てに向けたアンケート調査」集計データより

未来に向けた取り組みが必要
令和4年から平城・相楽ニュータウンの活性化について検討

※1：関西文化学術研究都市推進機構が事務局となり、奈良市、木津川市、精華町、UR都市機構、関西文化学術研究都市センターが参画した会議

背景2



まちびらき50年を契機に
地域住民が主導する取り組みが各地で活性化

住民と企業が連携し、
課題の一部を解消する希望に

取り組みが継続するためのサポートを検討

高の原の真ん中にある高の原駅前広場を
より使いやすく、居心地の良い空間へ
再整備計画に着手

プロジェクトチーム会議の立ち上げ

計画に地域住民やまちづくりに取り組む方の意見を取り入れるため、各住区からの代表者、まちづくりに取り組む関西文化学術研究都市センター、奈良市、木津川市、精華町の職員が参画

20年後の未来の高の原の姿

高の原で育った人が 帰ってきたくなる
高の原らしいまち

未来のまちの姿(PT会議第1回)

高の原らしさにつながり、未来の高の原で実現したいまちの姿を議論・整理した際のキーワード。

自然 豊か	閑静	安全	アクセ ス良好	おうち 感	解放感	地域の 催し物 充実
お年寄 りが元 気	子ども も元気	子育て 世代	多世代 の関わり	多様な 人々の 交流	学びの 場	歩き やすい
日常生 活が便 利	みんな で育て	集まれ る場所	若者が 集う	安らげ る場所	笑顔で 溢れる	環境に 配慮し た交通

育てていくモノ・コト

これらを踏まえ、駅前広場で取り組む内容を、計9回のプロジェクトチーム会議で議論してきました。

高の原らしさにつながる駅前広場で風景や取り組みのキーワード

住区の境を越え、 友人・仲間・知 り合いをつくる	知り合い以外の いろんな人と、 育児の悩みを 共有する	住区を越えた 地域共同の イベントで 盛り上がる	学生と住民が 協働して取り 組みを企画・検 討する
友人・仲間と おしゃべりを 楽しむ	高の原らしい 「まちの景色」 を楽しむ	1人でほっと 一息つく	1人で読書を 楽しむ
1人または グループで 仕事・勉強する	子どもから大人 まで、興味・関 心を深める 学びを得る	エリア内を 不便なく 移動できる	安心して 子どもを 預けられる

駅前広場再整備において重要視

住区の境を越えて、知人・友人・仲間の
“つながり”をつくれる駅前広場

駅前広場再整備プラン

検討項目

- エリアごとの使い方⇒ゾーニング
- 各エリアのコンセプト
- 機能の配置
- 整備後の運営方法

検証

社会実験を開催し、
未来の駅前広場での
過ごし方を体感
いただきました。

反映



実験の様子

再整備計画イメージベース



高の原駅前再整備計画の概要

【駅前広場のデザインコンセプト】

多世代がつながる「高の原らしさ」と暮らしの魅力の発信拠点

【ランドスケーププラン】

すずらん館前：まちのリビング

普段づかい、住民（特に子育て世代・高齢者）の憩いの場
ときには、イベント等を通じて、多世代の交流を深める場

イオンモール前：まちのエントランス

駅・ロータリーやイオンモールなどの多様な人の往來の玄関
口として、高の原のまちと出会い、まちの魅力を発信する場

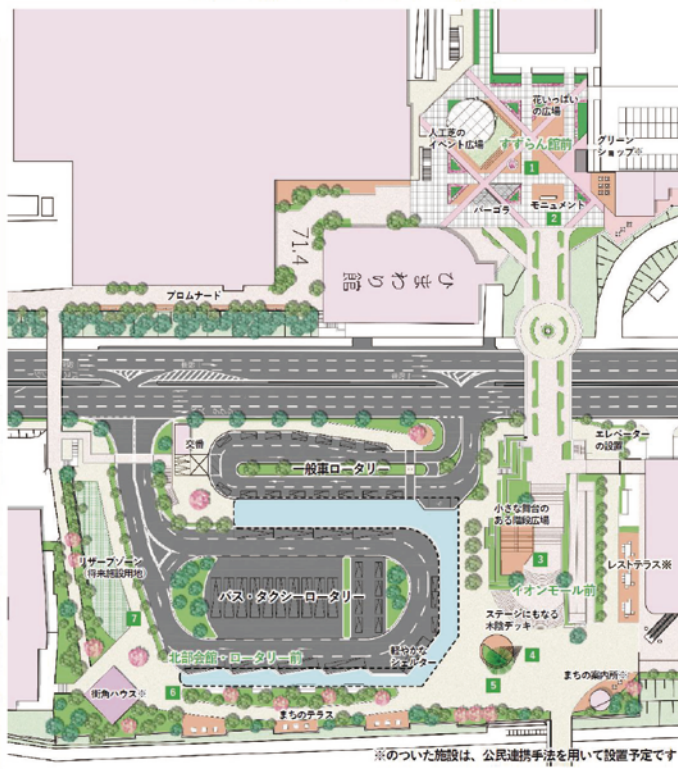
北部会館・ロータリー前：まちの庭

駅前でありながら、人通りから外れて、ほっと一息がつける
場所、一人で、もしくは仲間と過ごし、ときには新たな出会い
もある場



【デザイン方針】

- 方針1 “らしさ”のある緑があふれ、緑を親しむことのできるデザイン
- 方針2 居心地がよく、まちを眺め、感じられるデザイン
- 方針3 多様なシーン、アクティビティが生まれるデザイン



【ランドスケーププランの考え方】

- ①場所の個性を活かし、つくる
- ②隣接する建物等と一体となった使い方をデザインする
- ③公民が連携した運営の仕組みをつくる



■リザーブゾーンの活用

「高の原で育った人が帰ってきたくなるまち」
の実現のため活用を検討
今後、事業者へヒアリングなどを実施

奈良市や地域住民とともに、「未来の高の原の姿」
の実現に向けて、連携いただける事業者を選定

地域に根差した事業を展開

■これからの駅前広場の運営方法

地域の利害関係者が協力し、
地域の魅力や価値を高めるために駅前広場を活用

エリアマネジメント（民間事業者による広場の管理）

自主イベント開催 スペース貸し 賑わい施設運営 情報発信スペース	利益を 原資に	広場の植栽管理 日常清掃 ベンチの設置・管理
---	------------	------------------------------

表面に、計画行程が記載してあります。